

参考情報：アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）について

1. 名称

アジア・太平洋地域宇宙機関会議（Asia-Pacific Regional Space Agency Forum）

2. 経緯

1992年に開催されたアジア・太平洋国際宇宙年会議の閉会宣言での勧告を受け、1993年以降、文部科学省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）及びアジア・太平洋地域の宇宙関連機関の共催により毎年開催。

3. 目的

アジア・太平洋地域の宇宙利用の促進を目的として、各国の宇宙活動や将来計画に関する情報交換を行うとともに、具体的な協力活動の構築に向けた議論を、宇宙機関、国際機関等をはじめ産学官から広く参加者を求めて行う。

4. 開催実績

これまでに25回開催。第25回は2018年11月にシンガポールにて開催。次回にあたる第26回は、2019年11月に日本・名古屋で開催予定。

5. 前回（APRSAF-25）の参加実績：

29 各国・地域、9 国際機関から 384 名が参加。

AP-25 の参加国（地域）・参加機関

日本、オーストラリア、ブータン、カンボジア、カナダ、中国、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、カザフスタン、韓国、マレーシア、ネパール、ノルウェー、フィリピン、ロシア、シンガポール、スリランカ、スウェーデン、台湾、タイ、トルコ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ合衆国、ベトナム、
(29 各国・地域)

アジア開発銀行（ADB）、アジア防災センター（ADRC）、アジア工科大学（AIT）、東南アジア諸国連合事務局（ASEAN Secretariat）、欧州宇宙機関（ESA）、宇宙世代諮問委員会（SGAC）、私法統一国際協会（UNIDROIT）、国連宇宙部（UN/OOSA）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）、南アジア地域協力連合（SAARC）

(9 国際機関)